

# 参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

しゅうじんに先んじて言う



高木聖雨先生

# 参考手本

※これは規定課題ではありません。



# 条幅かな

# 条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）  
B部（四段～準三段）

京奉綸言而載譯以法師宿望特所欽重瑣義  
宿望特所欽重瑣義  
精有玄奘法師者法門之  
領袖也多懷貞敏

道因法師碑（唐・歐陽通）

京奉綸言而載譯以法師宿望特所欽重瑣義

集字聖教序（東晉・王羲之）

替有玄奘法師者法門之領袖也多懷貞敏

浮乘清鄉先生



難波がた浦より遠になく鶴のよそにきつゝ恋やわたらむ  
奈良多良無（源実朝）

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

（9月10日締切）

# 半紙規定(一)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

曹全碑(漢・作者不詳)

計掾史仍辟



上計掾史を歴て、仍りて涼州に辟かれ  
じょうけいえんしをへて、いよ・まねにまわされ

[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(9月10日締切)

## 半紙規定(二)

清書の提出は  
〔初段以上〕 楷書か隸書

〔一級以下〕 楷書

此れ則ち隨いすなわちの仁寿宮なり

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）

則隨之仁壽



〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(9月10日締切)

条幅参考手本

相送臨高臺川原杳何極日

暮飛鳥還行人去不息

翠鶴

相送臨高臺  
川原杳何極  
日暮飛鳥還  
行人去不息  
相送りて高台に臨めば  
川原杳として何ぞ極まらん  
日暮飛鳥還り  
行人去つて息まず

青 柳 江 雲 先 生

客去自搖闌  
林深涼鳥聲  
徘徊無靜雜  
徘徊無靜雜

徊夕陽中  
秋煙澹孤影

江雲

客去自掩關  
林深鳥聲靜  
徘徊夕陽中  
秋煙澹孤影

客去つて自ら闌を掩う  
林深くして鳥声静かなり  
徘徊す夕陽の中  
秋煙孤影澹し

田 辺 翠 鶴 先 生

# 条幅参考本

鎌倉や御佛なれど釋迦牟尼は美男におはす夏木立かな

鎌倉や御佛なれど釋迦牟尼は  
美男におはす夏木立かな  
よし野のうた  
とよひ

閑雲野鶴心同靜 瓶水爐香意自如  
閑雲野鶴と心同じく静に、瓶水爐香意自如。

久保田 悠山先生

閑雲野鶴心同靜  
平成二十六年  
夏月上醉  
筆道書

塙田 悠碩先生

# 半紙かな(初段以上)

かすみだにやまちにしばしたちどまれすぎにしはるのかたみとも見る  
三多二万遅八志多地万爾者可多三母み無み（相模）

\*支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
\*ちらし文字変換は自由

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)



浮乘清郷先生

(9月10日締切)

# 半紙かな（1級～8級）

大の字に寝て涼しさよ淋しさよ（小林一茶）

支部名 級 姓 号  
（鉛筆可）

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由。

だいの字に寝て涼しさよ淋しさよ

小林智峰先生

(9月10日締切)

## 実用文（準三段以上）

田 邊 玉 翠 先 生

夕やけ小やけの赤とんぼ負われて  
見たのはいつの日か、山の畑の桑の実を  
小籠に摘んだはまぼうが、十五で  
姐やは嫁に行き、お里のたぐりも絶え  
はてた夕やけ小やけの赤とんぼ――

支那名　あ　姓子

〈書風任意〉

(9月10日締切)

## 実用文（二段以下）

鈴木翡翠先生

中國では詩・書・画・篆刻と嗜じ  
作家が多く、各々の作風が影響  
を与える効果を示げてゐる。

吳昌碩はその代表的人物である。

文部省 段級 姓号

# 字

焙 沸 香 味 滿 室 氣 動  
焙 沸 香 味 滿 室 氣 動  
焙 沸 香 味 滿 室 氣 動  
焙 沸 香 味 滿 室 氣 動  
焙 沸 香 味 滿 室 氣 動  
焙 沸 香 味 滿 室 氣 動  
焙 沸 香 味 滿 室 氣 動  
焙 沸 香 味 滿 室 氣 動

支 部

段級

姓

号

※ 一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

焙 (ばい) 気 (き) 気配 (きばい)  
沸 (ふつ) 動 (どう) 氣動 (きどう)  
こうばしい香りをたてて沸く。  
ものの気配がうごく。

名前は必ず楷書  
17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

## 硬筆（初段以上）

青 柳 江 雲 先 生

揮啟 立秋とは名ばかりで強く激しい

太陽の光が肌を射す日々が残ります。

夏休みは如何お過ぎてまとつか。

暑氣れりを兼ねて花火大会にお出掛け

け下さい。お待ちしております

敬具

支教名

系

姓

硬筆（4級以下）

支部名

級

姓  
号

暦の上で秋の始まる日が立秋、しかし  
まだ暑さはしばらく続きます。

硬筆（1級～3級）

暦の上で秋の始まる日が立秋、しかし  
まだ暑さはしばらく続きます。

支部名

級

姓  
号

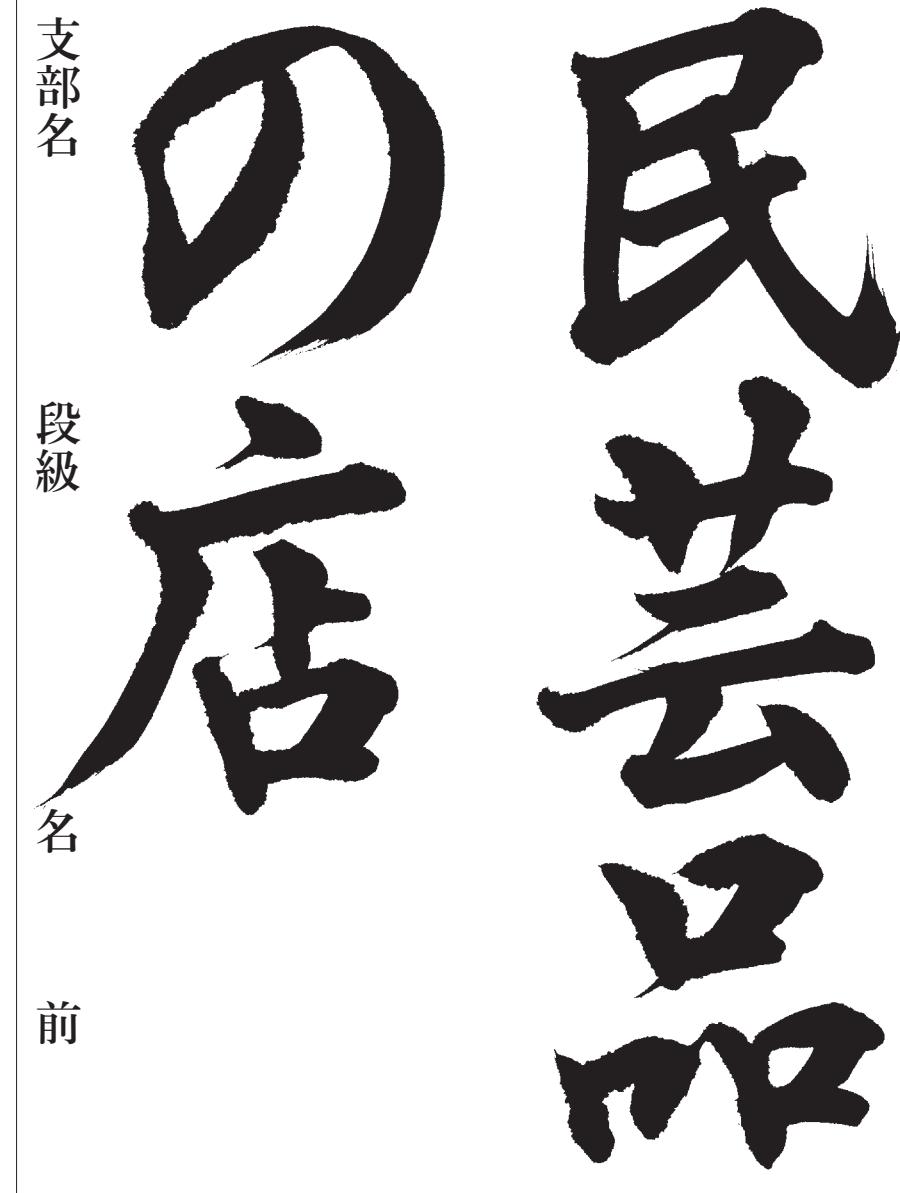
鈴木蕙翠先生

（9月10日締切）

中2用



中3用



小6用

支部名

段級

名前

の秋  
音風

渡邊南嶂先生

中1用

支部名

段級

名前

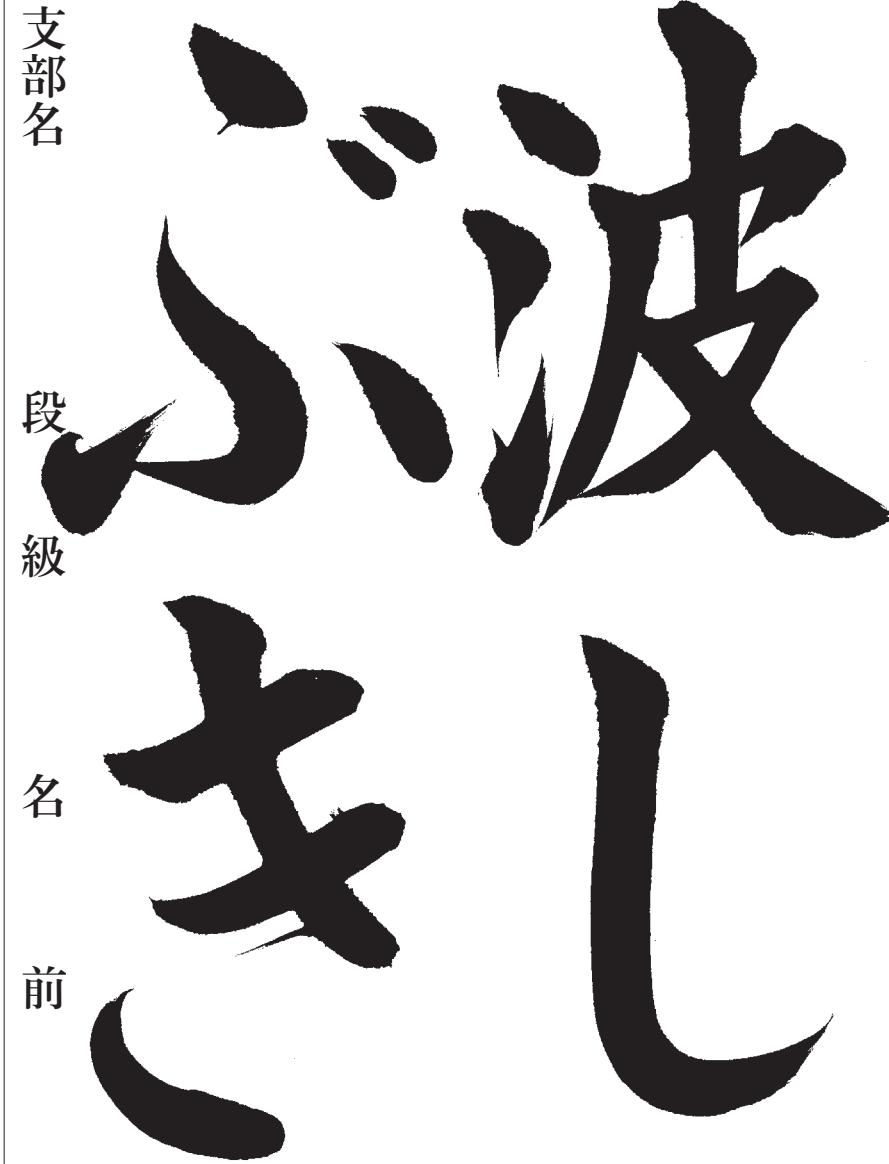
い旅  
出の思

— 18 —

渡邊南嶂先生

(9月10日締切)

小4用



小5用



小2用

支部名

段級

名前



小3用

支部名

段級

名前



(9月10日締切)

中 1

必要にせまられ、急がない。

中 2

開発が進むに従い、自然が破壊されていく。

中 3

良寛は、禅僧、歌人、書家としても有名だ。

中1～中3

青 柳 江 雲 先 生

小1・幼年用

支部名

段級

名 前



(9月10日締切)

小1・幼年

かえるのがつしょうが  
きこえています。

小1～小3

小 2

かぜに、白い花びらが  
ゆれています。

田辺翠鶴先生

小 3

木かげに入ると、  
しい風がほおをなでる。

先生

小 4

大空を鳥のように元気  
よく、とび回りたい。

小4～小6

小 5

夜に鳴く虫の声に、  
の終わりを感じます。  
夏

齊藤翡翠先生

小 6

日曜の朝、食事を作る  
手伝いをしています。

先生

## 小学部小筆課題

支部名

段級

名

前

夏の夜に  
花火大会

主幹 菅野翠濤

・半紙半分に書いて下さい

(9月10日締切)

## 中学部かな課題

支部名

段級

名 前

ほんと穴あき暑さ  
かわいい

・半紙半分に書いて下さい

船久保棠苑先生

# 平成26年後期昇段試験要項

## ◎かな部

### ◆A部 六段・五段に応試

(イ) 聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ以内「たて」に揮毫  
夕顔の花ほの白くたそがれて清しと思ふ月立ちにけり

(島木赤彦)

(ロ) 全懐紙「たて」に揮毫

今さらに山へかへるなほととぎすこののかぎりはわが宿になけ

(古今和歌集)

### ◎漢字部 臨書課題

#### ◆A部 六段・五段に応試（用紙・聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ）

楷 書 牛欄造像記	P • 26 参照
行草書 米芾・蜀素帖	P • 26 参照
隸 書 鄧石如・隸書崔子玉座右銘	P • 27 参照
隸 書 曹全碑	P • 28 参照

◆B部 四段・三段に応試（用紙・謙慎サイズ40cm×160cm）

(イ) 聯落 $\frac{1}{4}$ つぎ以内「たて」に揮毫

夏に入る青草山のふもとよりけぶりのぼれりよき朝けかな（尾上柴舟）

(ロ) 半切 $\frac{1}{2}$ 「たて」に揮毫

滝の上に水現れて落ちにけり（後藤夜半）

### ◆C部 二段に応試（用紙・半切）

楷 書 欧陽詢・九成宮醴泉銘	P • 29 参照
行草書 王羲之・集字聖教序	P • 29 参照
隸 書 曹全碑	P • 30 参照

### ◆C部 二段・初段に応試

(イ) 半切「たて」に揮毫

よられつる野もせの草のかげろひて涼しく曇る夕立の空

### ◆D部 初段に応試（用紙・半切）

楷 書 欧陽詢・九成宮醴泉銘	P • 30 参照
行 書 王羲之・蘭亭序	P • 31 参照

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

(新古今和歌集)

(ロ) 古典臨書（揮毫部分は任意）

「高野切第一種」を4～5行相当（たて）に書く

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

唐太宗は唐の第二代の皇帝です。王羲之の特に蘭亭序を酷愛して多くの書人に模本を作らせましたが、真跡は遺言によって太宗と共に埋葬されてしましました。

◆B部（二段以下に応試）

八分とは隸書の一種で、破磔（横画の右払いで波の様に見える線の事）を持つものです。破磔のないものは古隸と呼ばれています。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

知章騎馬似乘船 眼花落井水底眠

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

風信帖は空海が最澄に宛てた手紙三通のことで、第一通の始まりが風信雲書とあるのでこう呼ばれます。四十歳前後に書かれたもので、空海の作品で最も有名で優れたものです。

◆B部 四段～準二段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

筆の鋒先から紙面に加わる力のことを筆圧と言います。この圧力が強いと線は深く厳しくなり、弱いと甘く浅くなってしまいます。

- ※合格者には段級証明書を発行します。
- ※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。
- ※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従って下さい。
- ※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名作品はそれに鉛筆で記入）
- ※バーコード出品券だけを一枚貼り付けて下さい。

◆C部 初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各

体に書く。）

半切は条幅の形式として最も一般的なもので、半折とも書きます。

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

## ◎昇段試験 実物大手数料・応試料

科目	種別	六～準五段 を受験	四～準三段 を受験	二～準二段 を受験	初段を受験
漢字	手本料 (1書体)	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料 (1セット)	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料 (3書体)	7,000	6,000		3,000 (2書体)
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
細字	手本料	2,500			2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000

弥勒像一區願牛橛捨於今段

之鄉騰遊无礙之境若存生  
於天上諸佛之所若生

彌勒像一區願牛橛捨於今段  
之鄉騰遊无礙之境若存生  
於天上諸佛之所若生

行草書 米芾集より蜀素帖「重九会郡樓」（宋・米芾）

中国法書選48  
P75-8

山清氣爽九秋天黃菊紅茱滿  
泛舟千里結言寧有後群賢畢  
玉環長前杜郎閑客今焉是

山清氣爽九秋天。黃菊紅茱滿泛船。千里結言寧有後。群賢畢至猥居前。杜郎閑客今焉是。（35字）

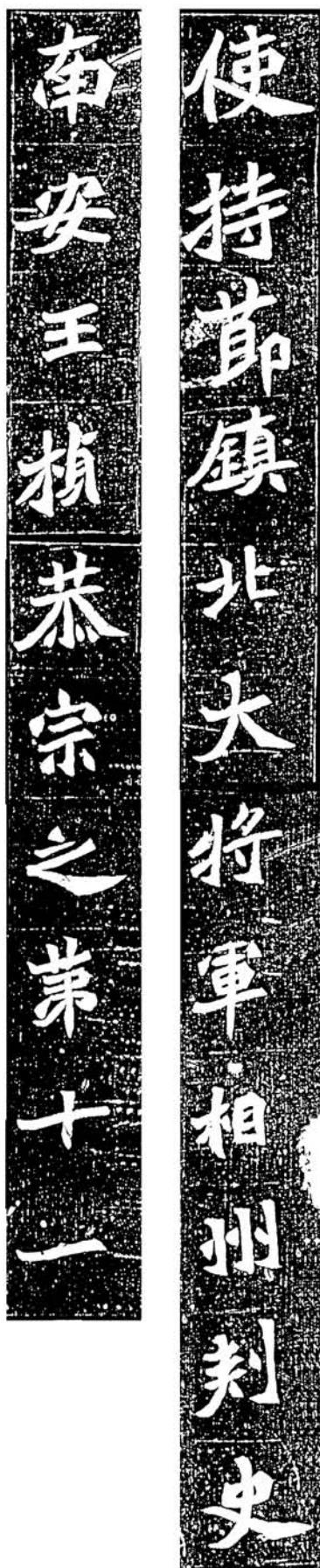
# 後期昇段試驗課題

(四段・三段)

(六段・五段)

隸書 鄧石如・隸書崔子玉座右銘(清)

中国法書選56 P38~54



楷書 元楨墓誌銘(北魏・作者不詳)

惟人爲紀綱。隱心而後動。謗議庸何傷。無使名過實。守愚聖所臧。在涅貴不淄。曖曖內(33字)

中国法書選25 P2

惟人爲紀綱隱心而後動謗議  
臧否傷無使名過實守愚聖所  
左涅貴不淄曖曖內

使持節鎮北大將軍相州刺史南安王楨。恭宗之第十一(22字)

# 後期昇段試驗課題（四段・三段）

行草書 董其昌「行草書卷」（明）

中国法書選51 P556

廓然無聖闇拔世為剎那即證  
措思成魔金雞報曉香象度河

廓然無聖闇拔世為剎那即證  
措思成魔金雞報曉香象度河。（24字）

隸書 曹全碑（後漢・作者不詳）

中国法書選8 P23

姓繩負反者如雲戢治齋屋市肆  
列陳風雨時節歲獲豐年

姓繩負反者如雲戢治齋屋市肆列陳風雨時節歲獲豐年（23字）

## 後期昇段試驗課題（二段）

楷書 九成宮醴泉銘（唐·歐陽詢）

中國法書選31

P 18

我享其功者也然昔之池

沼咸引谷澗宮城

我享其功者也然昔之池沼咸引谷澗宮城（17字）

行草書 集字聖教序（東晉·王羲之）

中國法書選16 P 18

皇帝在春宮達三藏聖記大顯揚正教非智無以

皇帝在春宮述三藏聖記夫顯揚正教非智無以（19字）

# 後期昇段試驗課題

(初 段)

謂至人無爲大聖不作彼竭其力我享其（16字）

謂至人無爲大聖不作  
彼竭其力我享其

楷書 九成宮醴泉銘（唐·歐陽詢）

中国法書選31 P 18

(二 段)

存亡之敬禮無遺闕是以鄉人爲之諺曰重（17字）  
鄉人爲之諺曰重

隸書 曹全碑（後漢·作者不詳）

中国法書選8 P 10

行書 蘭亭序（東晋・王羲之）

中国法書選15

P 15

天朗氣清惠風和暢  
是日也暢敍幽情

亦足以暢敍幽情是日也天朗氣清惠風和（17字）

## 夏期講習会

▲会場 亀田市民会館（駐車場有）  
 ▲日時 八月二十四日（日） 九時開場 四時半閉会  
 ▲申込締切 八月二〇日（水）  
 ▲会費 五〇〇〇円

\*研究部を除く各部共後期昇段試験の勉強会になります。用具は各自持参。  
 個人会員、適正な指導者のいない支部の方は積極的に参加下さい。

\*研究部は昇試、段級に関わらずどなたでも参加可。

\*研究部は半切・半紙を持参の事。又、各展覧会出品予定・出品後の作品  
 あれば『作品鑑賞会』も予定しております。

\*仮名部の研究部も受け付けます。

\*昼食は参加申込と一緒に事前予約のみとします。

### 講習会担当講師

総括	田辺 玉翠
----	-------

研究部	菅野 翠濤	大井 岳陵	
漢字 A	大井 岳陵	大越 三宗	渡辺 南嶂
漢字 B	和泉 千泉	鈴木 翡惠	田中 奎堂
漢字 C・D	山田 翠皇	青柳 江雲	田邊 翠鶴
仮名部	船久保栄苑	若月久美子	

# 参考手本

\*これは規定課題ではありません。

